



岡野 一男 議員

質問
西幹線道路開通の波及効果
と今後の地域振興について

答弁
良好な交通アクセスにより、民間事業者の関心が高まっている

岡野議員の
質問動画



議員

西幹線の開通に相まって注目されている坂手・内守谷工業団地の将来をどのように考えているか。

都市建設部長

産業用地の創出は既存工業団地の拡張を含めた周辺での開発が最も効果的であると考える。

議員

産業用地の創出と並行して住宅団地の必要性は当然出てくると考えるがこの計画はあるか。

都市建設部長

新たなエリアの整備も検討する必要があると考える。

議員

坂東市から要望のあった当市内での道路整備について、その内容と市の方針を伺う。

都市建設部長

8月31日に坂東市長と市議会議長より、道路整備の要望書が提出された。その内容は圏央道・常磐道の広域ネットワークへのアクセ

ス向上と一体的交通網の整備をお願いしたいというものである。

議員

当市と坂東市で一体的に交通体

系の整備を進めるといふことか。

都市建設部長

交通体系の一体化は坂手地区での産業用地創出に寄与できるものであると考えている。

議員

坂東市の地域開発のために当市の税金を投入して道路整備をしていくのかという問題が起きると思うが当市の考えを伺う。

道路課長

坂手地区において将来的に企業立地のニーズが高まると予想されるため、道路事業については有意義であると考えている。

議員

令和4年6月の定例会議において坂手川又線について質問した。この路線と重なるのではないか。

都市建設部長

県道取手豊岡線まで道路を開通させれば、坂手川又線の一歩前進した形になるのではないかと認識している。

議員

この地域の土地利用計画を早急にまとめてほしい。



遠藤 章江 議員

質問
記念品よりも祝金が良い
との高齢者の声！

答弁
当面は現在の形で考えている

遠藤議員の
質問動画



議員

敬老祝金がなぜ廃止され、現在の記念品配布に至ったのか伺う。

福祉部長

平成3年3月、条例の改正に伴い市内に居住する高齢者に対し祝金として現金を給付してきた。しかし近年、高齢者施策全体の充実を図る必要が生じ、平成30年度をもって長寿をたたえる事業と統合し感謝状や記念品とした。

議員

現在配布されている祝品について、商品の選定から決定に至った経緯を伺う。

福祉部長

満88歳、満百歳、市内最高齢者に対し名産品詰合せセット、記念品等を贈呈している。本事業の趣旨に理解があり、かつ市内の名産品の詰合せセットを扱える団体と相談して内容を決定している。

議員

物価も高騰しており、少しでも良いから祝金が良いとの意見もある。名産品と記念品合わせて一人当たり予算いくらになるか。

議員

令和4年度は、米寿の記念品は合わせて5千円程度になる。

幸せ長寿課長

下妻市が80歳の時に5千円、つくば市が77歳3千円、88歳1万円、百歳が3万円、守谷市は88歳が5千円、99歳が5千円、百歳以上が1万円、坂東市は77歳が1万円、88歳3万円、99歳5万円、百歳が褒状と祝金、つくばみらい市は88歳が1万円、百歳以上が3万円、こういった状況である。当市では毎年6千円ぐらい祝品に使っている。祝金に振り替えれば予算的に問題もなく、守谷市のように88歳5千円を出せないのか。

議員

高齢者施策の見直しの一環として敬老祝金事業を廃止した。今後

福祉部長

も高齢者施策については、時代に応じた事業方法を検討していく。

議員

今まで一生懸命納税をしてきた方に対して、一度廃止したものは戻せないということではなく今の世界情勢、物価高騰などを鑑みて再度検討してほしい。

議員

議員

議員